

告示	番号	93	内分泌疾患
	疾病名	バルデー・ビードル症候群	

バルデー・ビードル (Bardet-Biedl) 症候群

ばるでー・びーどるしょうこうぐん

概念・定義

本疾患は肥満、知能障害、網膜色素変性症、慢性腎障害、性腺機能低下症、多指症・合指症を特徴とする常染色体劣性疾患である。肝線維化による肝硬変も合併する。本邦ではローレンス・ムーン・ビードル症候群と呼ばれることが多いが、それは世界的には肥満のない別の疾患を指すとされる。通常は小児期に発症し、診断されるが、時に成人になってから診断されることもある。

症状

肥満、知能障害、網膜色素変性症(視力低下、夜盲)、慢性腎障害、性腺機能低下症(無月経など)、多指症・合指症。

治療

対症療法が主体。

抜粋元：http://www.shouman.jp/details/5_43_95.html